

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

第32回新町つ子「もちつき大会」 12月2日開催

第32回新町つ子もちつき大会が12月2日、新町小学校体育館で開催された。子どもの参加は111名、保護者・来賓・町内会などの総勢で227名の参加者があり、今回も大盛況のもちつき大会となった。

もちつき大会の開催模様は12月3日の北海道新聞旭川版にカラー写真入りで大きく掲載された。ご覧になった方が多いかと思う。今回はまた、11日に同紙「人」欄に総務部長の川原さんⅡ写真Ⅱが載り、



新西町内会総務部長 川原 宗二さん(80)



校長あいさつ(上)と児童のもちつき体験(下)

もちつき大会などの催し企画で町内会を元気にする活動をしていることが取り上げられていた。

◆前日の段取りに万全を期す

餅つき大会の前日、婦人部は家庭科教室で餅米のうるかし作業、あんこ玉作りのほか、きな粉、お汁粉、みたらし、ゴマ等の前準備。一方、男性陣は餅つき道具の運搬や、会場作りなどを行った。

今回一番大変だったのは、長年使ってきた木製の臼に大きな割れ目が入ったため使いものにならず、石臼を急遽用意したこと。尋常でない重さで運搬設置には難儀した。

◆無病息災を願い丸める餅

当日は8時の集合。朝一番に仕事したのは杉内さん。蒸し器の湯沸かし作業などを担当していたが、今年は器材の改良により順調に蒸し上がり今までの中で一番の出来だったとの由。

前後するが、最初につき上がった餅で作るのは会館のお供え餅。町内会の方々の無病息災を願って丁寧に丸める。

次に早く来た子どもたちも参加してお土産の丸餅作り。お店とは違って大きさに違いがあるのは、もちつき大会のご愛敬。パックに詰めるときは、大小を組み合わせて不公平にならないように配慮。

お父さんお母さんたちも杵の扱いや手返しに慣れ、順調につき上がった。最後のほうで草餅や授業で作った黒豆の入った豆餅づくり。大変素晴らしいでき上がりで大人たちも喜んでほおぼっていた。

◆最後はバルーンが登場

今回は親父の会により、バルーンアートが披露された。細長いペンシル風船を利用して作られたウサギや犬、リボン、剣などをプレゼントされた子どもたちは大喜び。お餅をたくさん食べ満腹になった子ども達もバルーンでも遊び楽しい一日を過ごしたⅡ写真Ⅱ。(藤田青少年部長)



◆子ども食堂 カレーライス作り

この指とーまれ食堂が11月23日新町小学校で「住み続けられる西区をつくろう会」の主催で行われた。地域の子ども、保護者、住民など50名ほどが参加し、みんなでご飯を作ってみようをスローガンにカレーライスを作り、食べながら交流を深めたⅡ写真Ⅱ。3皿もおかわりする子がいしたが、おいしく味わった。

「お家の手伝いもできるね」と声をかけると「ウーン、面倒くさくてやらしてもらえない」と答えた子もいた。食材は、フードバンクからの提供や川原さんのジャガイモなども。(小関)



広報部長の辛口コラム

冬の訪れの遅い今年も餅つきの季節となった。私事だが俵に二番目の子ができ、上の孫の遊び相手で出ることにはかなわなかった。が、道新の大きな記事で伺い知ることが出来た▼主催がPTAと同格に扱われたのは残念。他の町内会のサンタに一番良いところを持って行かれたのはもったいない▼参加者に我が町内会が主催していることを知っている

人はどれだけいるか。存在感が薄くなっている気がする▼役員の顔ぶれを見渡すと後何年やれるやら。平成の御代も代替わりするが、餅つき主催の引き継ぎを検討しても悪くはないだろう▼今年も早数日を残すばかりになったが、広報発行に協力してくれた人々にお礼を申し上げる。年金の減額通知が届いたが、新年を無事に迎えられるように感謝する。会員の皆さんにも良いお年を。(小関)

編集後記

▽今年の漢字は「災」に決まったが、町内会ではやはり「絆」▽子どもの参加する行事は元気がもらえる、に「そだねー」の声▽何より良いのは広報紙で喜びと楽しさを伝えられる。(お)